

2001 年 8 月 6 日

東京外国為替市場委員会第 46 回会合議事録

開催日時	2001 年 7 月 31 日 10:00 ~ 12:00
場 所	日本銀行本店新館 9 階大会議室
議 長	住田 知正(東京三菱銀行)
副 議 長	大倉 孝 (パークレイズ銀行)
副 議 長	花井 健 (日本興業銀行)
書 記	西川 広親 (日本銀行)
参加委員数	15 名 (別紙)

1. 各小委員会からの報告

各小委員会より、現在の活動状況について報告がなされました。

(1) 教育小委員会

今井小委員長 (三和銀行) 欠席のため、野手委員 (三井住友銀行) より、当委員会主催セミナーの決定内容に関して以下の通り報告がありました。

日時： 9 月 3 日 (月) NY 休日

1 8 時から約 2 時間半

場所： 野村證券 金融市場本部大会議室 3 - A

千代田区大手町 2 - 2 - 2 アーバンネット 大手町ビル 3 F

講演内容：「外為取引における決済ビジネスの現状 - CLS の導入と市場への影響」

講師；中田 太一氏 (三和銀行 決済業務部 部長代理)

「今後のマーケット予想&ヘッジファンドの実態」

講師；藤巻 健史氏 (株式会社フジマキ・ジャパン代表)

参加費： 5 , 0 0 0 円

参加人数： 5 0 名

本セミナーに関する広報については、当委員会のウェブサイト上で告知するほか、日本フォレックス・クラブ (本セミナー協賛) の例会 (8 月 8 日) の際に案内を配布する予定である。

(2) 法律小委員会

金上小委員長 (三菱信託銀行) より、以下の通り報告および提案がありました。

“ 98 Definitions ” の解説資料作成プロジェクトについては、原稿の執筆とメンバーによる内容面のチェックが終了。今後のスケジュールとしては、8 月に全体の整合性チェック、9 月に出版、11 月にセミナー開催という予定。

解説資料の位置付けとしては、当初は ISDA との共同プロジェクトとの位置付けとする案もあったが、ISDA の official な解説書とするためには、ISDA 本部との調整等にかなりの時間が必要と思われること、等を勘案した結果、本書は当委員会単独の出版物とし、ISDA の協力については序文等でその貢献について謝意を示すこととしたい。

小委では、内容に確実を期すためには弁護士によるリーガルチェックが必要であると判断しているが、少なからぬ費用がかかることもあり、可否について本委員会の裁決を頂きたい。了承が得られれば、弁護士の選定と付随する費用についての検討を行っていききたい。

討議の結果、上記 ~ 何れの案件についても小委の方針が了承され、 の弁護士選定等については、小委員長に一任されることになりました。

(3) E コマース小委員会

野手小委員長(三井住友銀行)より、以下の通り報告および提案がありました。

ロンドン外為合同委より JSC サブグループによる E コマースの発展についてのレポートを受理した。同レポートに含まれるインターネット取引についての best practices は大変良くまとまっており、参考になる。

当委員会としても電子取引にかかる対応を Code of Conduct(Orange Book)に加える必要があると考えている。本件について Model Code 小委と協力して参りたい。

討議の結果、電子取引の将来像自体が流動的であることに鑑みて、E コマース小委は将来的に電子取引にかかる Code of Conduct を Orange Book に載せることを念頭に置きつつ、当面は電子取引の展開をモニターし、必要があれば市場参加者に対し情報の提供や啓蒙活動を行うこととなりました。一方、Model Code 小委は、当面の課題である Model Code と Orange Book の gap を埋める作業を優先し、その後に電子取引を含めた新商品や新たな市場慣行への対応を考えることになりました。

(4) Model Code 小委員会

小林委員 (スタートストリート銀行) より以下の報告および提案がありました。

Model Code はフロント、ミドル、バックの各職務についてレポーティング・ラインを分離することを明示的に定めているのに対し、Orange Book にはそうした内容が含まれていない。Orange Book にもそうした項目を加えるべく同小委にて案を作成した。

Orange Book 第 15 条で定められているバック・オフィス間での取引確認は、書面による確認書をもって行われるものとされているが、これを「S.W.I.F.T を代表とする電子媒体を使用することが望ましい」と変更すべきである。また、確認書に記述すべき

項目についても明記する必要がある。

(5) T + 1 小委員会

小林小委員長(ステートストリート銀行)より、以下の論点につき報告、提案があり、何れも了承されました。

ファンドマネージャーが「T + 1 問題」についてどれだけ認識し、どのような対応を検討しているかに関するアンケート調査の文案が完成したのでご検討頂きたい。

内容に問題が無ければ、本アンケートを投資信託協会の会員に配布することとしたい。
事前に同協会を小委員会と執行部の代表者で表敬訪問することとしたい。

(6) CLS 小委員会

市川小委員長(富士銀行)より、以下の通り報告、提案があり、提案は何れも了承されました。

CLS で決済される取引と非 CLS で決済される取引のどちらであるかを事前に明示する必要のあるケースがあり得る。

CLS 導入による外為市場取引(主にフロント部分)への影響と、それに対する当委員会からの提言をまとめたものを外部への公表を視野に入れて作成する。

NDF 市場の活性化に際して、NDF 取引に関する一般企業のニーズ、要望について実態を把握するためのアンケート調査の案が完成したので、本委員会の了承が得られれば市場参加者に送付したい。

また、ボイスブローカーマーケットにおける CLS 取引に関し検討するため、次回以降、伊藤委員(トキヨウホルクス上田ハロー)にも小委への参加をお願いしたい(伊藤委員了承)。

NDF 取引に関するアンケート(上記)については実施が了承されたほか、送付先について小委員会に一任することになりました。その際、投資家分については T+1 小委員会が実施するアンケートの送付先リストを活用することになったほか、各行の業推との競合に配慮すべきとのコメントがありました。

2. その他

(1) 海外市場委員会との連絡

居村オブザーバー(東京三菱銀行)より、概要以下の報告がありました。

<香港外国為替市場委員会からの連絡>

「T + 1」化問題について証券業協会と提携していく方針である。

ACI Model Code について、同委員会で用いている規定と相異は無いので、同委員会の規定として採用していく方針である。

11 月 22 日開催の各国外為市場委合同委員会が準備されており、当委員会からも参加

する予定。

<シンガポール外国為替市場委員会からの連絡>

シンガポール外国為替市場委員会、NY 外国為替委員会による合同委員会が 11 月 8 日にシンガポールで開催される。

(2) ブローカー確認書へのペイメント先表示問題

前々回の委員会およびその後の Model Code 小委員会における討議結果を踏まえ、野口オブザーバー（マネ・ブローカーズ・アソシエーション）より以下につき再度問題提起と説明がありました。

ブローカー確認書へのペイメント先表示について、ブローカー数社から、一部市場参加者の取扱い方が Orange Book 第 16 条第 1 項の記述に沿っていない場合があるとの指摘が聞かれるので、本委員会の見解を求めたい。具体的には、ブローカーによる決済勘定の通知が、本来不要であるはずの本邦間の取引においても求められているケースが見られる。こうした不必要な事務を発生させている問題を解決するために、16 条の記述を変更できないかも併せて検討をお願いしたい。

本件については、まず委員の間で、「野口オブザーバーの問題提起にある通り、Orange Book 第 16 条の記述は、邦銀同士の取引については、仲介業者受渡し方法の伝達を求めている」ことが確認されました。また各委員からは、「当該参加者は Orange Book の第 16 条を誤解しているのではないか」、「こうした取扱い方は東京市場に closing time が存在し、closing time 以降の取引は、邦銀同士であってもオフショア取引と見なしていた頃の取扱い方を引き摺っているのではないか」といった指摘が聞かれました。結局、本件については「何れにしても Orange Book の内容が誤解されたり、無視されることは決して望ましいことではない」、「こうした状況を回避するために、誤解を生まないような記述への変更の検討や、市場参加者への啓蒙活動強化が必要」との意見、方針が合意されました。

以 上

(別 紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(7月 31 日現在)

< 委員 >

議長	○住田 知正	(東京三菱銀行)
副議長	○花井 健	(日本興業銀行)
副議長	○大倉 孝	(ハークレイズ銀行)
書記	○西川 広親	(日本銀行)
運営小委員長	○加藤 博光	(野村証券)
兼 広報小委員長		
教育小委員長	今井 雅人	(三和銀行)
法律問題小委員長	○金上 孝	(三菱信託銀行)
E コマース小委員長	○野手 弘一	(三井住友銀行)
T+1小委員長	○小林 和成	(ステート・ストリート銀行)
NDF・CFD 小委員長	○市川 亨	(富士銀行)
Model Code 小委員長	○中島 尚彦	(スタンダード・チャータード銀行)
	○酒匂 隆雄	(UBS 銀行)
	○石川 栄一	(イービーエス・ディーリング・リソース・ジャパン)
	○神田 紀昭	(ロイター・ジャパン)
	○伊藤 一雄	(トウキョウフォレックス上田ハーロー)
	○川鍋 修司	(チェースマンハッタン銀行)
	河野 大介	(シティバンク)

< オブザーバー >

○野口 嘉彦	(マナー・フローカース・アソシエーション)
○川添 敬	(日本銀行)
○居村 元	(東京三菱銀行)
○加辺 猛	(日本興業銀行)

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。